目黒南中だより

令和７年度　第５号
令和７年９月１日発行
目黒区立目黒南中学校

【教育目標】　自立　協創　信頼

目黒南中学校ホームページ

GOOD LOSER（グッドルーザー）

校長　金子弘樹

「暑いですね」が日々のあいさつ。東京都は10日連続猛暑日で最長記録を更新、年間猛暑日の日数も25日と最多記録を更新するなど今年も暑い夏でした。暦の上では秋なのに、と小さな声が涼しさを願う思いとして聞こえます。

この暑さの中、全国的なイベントや大会、コンクールが各地で、またミャクミャクが話題になった大阪万博など国際的なイベントも行われていました。

「自然環境や社会状況が変わりゆく中で、高校野球のあり方が問われています。しかし、その魅力は変わりません」。甲子園大会の開会式で智辯和歌山の山田主将が述べた選手宣誓の一部です。熱戦が繰り広げられる中、決勝に勝ち進んだのは沖縄代表（沖縄尚学）と西東京代表（日大三）。くしくも全国中学校軟式野球大会も沖縄代表と東京代表による決勝戦ということが一部のSNSでは話題になっていました。甲子園では白熱した接戦が続き、魅了される試合が多くありました。また、礼節も話題になりました。

GOOD LOSER（グッドルーザー）の姿も話題の一つです。グッドルーザーとは直訳すれば「よい敗者」。潔く自分たちの負けを認め、対戦相手の勝ちに敬意を払い、試合に関わる多くの人たちに感謝できる人のこと。試合後、対戦相手の選手たちに声をかける姿、応援してくれた人たちや大会を運営してくれる人たちに感謝を込めて一礼する姿が感動を呼びました。

ラグビーでも3つのリスペクトが挙げられます。ノーサイドと共に表現される対戦相手の選手に、審判に、観衆に対するリスペクト。将棋の世界では投了し、「負けました」と潔く負けを認めることがマナーと言われています。

グッドルーザーは、負ける経験も大きく成長するチャンスという考え方でもあります。試合や大会であれば勝ち負けがあります。勝てば努力が報われた達成感や自己肯定感の高まりが感じられるでしょう。一方、負ければ悔しくてどうしようもない気持ちになりますが、負けにも学びがたくさんあります。負けを学びにできるかどうかは、負けを潔く受け止められるかの気持ちや負けたときの振る舞いです。この気持ちや姿勢が自分の、自分たちの課題発見につながり、レジリエンス（回復する力）を高めることになります。新たな一歩、挑戦の一歩につながります。

もちろん、GOOD WINNER（グッドウィナー）でもありたいですね。謙虚に、懸命に、感謝を込めて！